

「キタバあやたホール（※）・くすのかホール今後のあり方（案）」に対する  
パブリックコメント意見及び市の考え方一覧

あやたホールとくすのかホールは建築から20年以上が経過し、入浴施設を中心に様々な設備の劣化が著しいことから、市では両施設の今後のあり方について検討を行ってきました。

市で作成した両施設の今後のあり方（案）について、令和8年3月16日（月）～令和8年4月10日（金）まで、市ホームページ及び市内の主な公共施設において公表し、パブリックコメントの意見募集を実施しましたところ、34人より40件（うち公表可35件、非公表5件）の貴重なご意見をいただきました。ご協力、ありがとうございました。

両施設の浴室存廃についても、多くのご意見をいただきました。慎重に検討を重ねましたが、現在、浴室利用お一人あたり約1,200円～1,500円という多大な維持管理経費（ランニングコスト）がかかっております。継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたってこの経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回の施設改修のタイミングで浴室は廃止する方針を決定しました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継いでまいります。

また、浴室廃止の影響を受ける方への代替施策について前向きに検討するとともに、新たな居場所づくりや、移動手段の確保など、皆さまが安心して過ごせる環境の充実に向け、取り組みを進めてまいります。

あやたホールとくすのかホールについては、「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」「小さな支え合いが生まれる場」「介護予防や健康維持ができる場」をコンセプトに生まれ変わります。いただいたご意見を踏まえ、地域の皆さまとともに

**” みんなが訪れたいくなる、みんながごちゃまぜで楽しめる”**

そんな温かい施設を創り上げていきたいと考えております。今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

パブリックコメントのご意見と、ご意見に対する市の考え方は次頁以降のとおりです。

（※）「キタバあやたホール」については令和8年3月31日付でネーミングライツ契約が満了したことから、令和8年4月1日以降は「あやたホール」に名称変更となっております。

番号	ご意見	市の考え方
1	<p>料理、食事ができる施設を望む。冬の風呂は寒すぎて入れない。風呂改修はクラウドファンディングで見返りは入浴券で費用の一部とする、ネーミングライツを導入すべき。</p>	<p>市の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室維持のためには改修費用だけでなく、その後のボイラー保守や光熱水費といった「将来にわたる多大な維持管理経費（ランニングコスト）」が必要となります（現在、浴室利用お一人あたり約1,200円～1,500円の経費がかかっている状況です）。改修費用の一部をクラウドファンディング等で賄えたとしても、継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたって維持経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回、浴室は施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。</li> <li>・ネーミングライツについては、現在両施設で命名権者（ネーミングライツパートナー）を募集しているところです。</li> <li>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</li> </ul>
2	<p>現状 中途半端である。場所も、イベントも。使う人もどんな人向けなのかイメージしにくい。風呂施設ありというのがまた不思議。場所：地域的に歩いて行くには厳しい場所ということもあり、公的バスにてイベントの前後で完全な送迎付き、または常時開催している企画については車を使う世代の使用、というイメージにしてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、施設のコンセプトを明確にし、こどもから高齢者まで「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」へとリニューアルいたします。特定の世代に限定するのではなく、「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を目指してまいります。</li> <li>・両施設は駅から離れた場所に位置しており、徒歩での来館が難しい場合があることは認識しております。より多くの方に足を運</li> </ul>

	<p>どの世代の使うものかはっきりしたほうがイメージしやすいのでは。そして風呂は要らないのでは？風呂を使えない方への福祉的施設が必要というのなら、また違う方法でサポートしても、ホールと名がついているのだし文化的要素の入ったイベントを誘致できるようにしては？習い事や地域グループの発表会や学校のクラブの発表練習にも安く使えるように。地域サークルなどへの教室貸し出し。</p>	<p>んでいただけるようなアクセス面での工夫につきましては、いただいた意見も踏まえながら検討してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室は施設改修のタイミングで廃止する方針としております。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</li> <li>・リニューアルにあたっては、学生や若い世代を含め、誰もが利用しやすい施設となるよう、利用者の属性（年齢など）によらない一律の使用料に見直すことを検討しております。</li> </ul>
3	<p>河内長野市は、2050年の人口58342人・社人研推計（ご破産死に）に向かって、一直線の人口減少を続けています。大阪府下33市の中で、最も減少率が高い（2000年→2025年実績）。</p> <p>高齢人口比率が、極端に高いので、この年齢層の自然減少は当然ですが、一方で、これからの河内長野市の発展を支えていただく、若年層の社会減少も顕著です。</p> <p>西野市長の方針「消滅可能性自治体からの脱却が最大のミッション」を、具現化するには、「子育て世代への施策に、予算を重点配分」することが最重要の課題と思います。</p> <p>かつて、高齢者が少なかった時代は、福祉の名のもと高齢者層に予算をつける余裕もあり、「政治的にも効果があった」ことと想定します。</p> <p>何れ、市の財政も厳しくなる状況を踏まえて、「高齢者への予算配分の現状」に、合理性が有るのか？削減の余地は無いのか？冷徹に見極めるべき時期に来ていると思います。</p> <p>この観点からすると「風呂の廃止は当然の施策」「こんなことさえ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、本市における急速な人口減少や少子高齢化の進行、そしてそれに伴う財政状況の厳しさは大きな課題であると認識しております。</li> <li>・両施設の浴室につきましては、継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたって多大な維持経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回の施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。</li> </ul>

	<p>出来なければ、河内長野市の復活は絶望的」 選挙を意識すると、困難な事柄とは言え。将来を踏まえて冷徹な決断が求められることと思います。 「小善は大悪に似たり。大善は非情に似たり。」稲盛和夫</p>	
4	<p>今後のあり方とのことでありますが、使用頻度と近隣住民の方の意見が大切かと。 浴室の傷みが酷いということですが、これはホールができた頃から分かっていたことですよ。メンテナンスや維持費も含めての計画だったはず。 メンテナンス、維持費、耐用年数を考えて計画されて建設されたはず。 それを加味して検討をお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築から 20 年以上が経過する中で、本市における急速な人口減少や少子高齢化の進行など、社会情勢が大きく変化しており、浴室利用者数についても継続的な減少傾向が続いております。さらに、昨今の物価高騰等により、ボイラーなどの設備更新費用や光熱水費といった維持管理経費（ランニングコスト）が、大幅に増大している状況にあります。これらの状況を踏まえ、将来にわたって維持経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回、浴室は施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。</li> <li>・ 浴室を廃止した後のスペースの有効活用につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</li> </ul>
5	<p>問われ方が存続なのか活用の方法なのかわかりませんが、日本かつ市が高齢化社会を迎える中で、今後高齢者に求める力が大きくなることは必然的なものといえます。 高齢者の力が必要になることを考えると、存続は絶対的なものがあります。 活用についても高齢者の力が最大限発揮できるよう施設の充実は是非お願いします。 今人生は 100 年の時代から 120 年の時代へと移行すると言われます。 高齢者の力を最大限発揮するために更新を強く望みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の案は、決してこれまでの機能を縮小するものではなく、高齢者層も含め、世代に関わらず誰もが利用しやすい拠点へとリニューアルさせるためのものです。誰もが主体的・社会的に活動できる居場所となるよう、施設の充実を図ってまいります。</li> </ul>

<p>6</p>	<p>昨年末一人の生活が始まり、今冬キタバアヤタの風呂を利用させて頂いています。自家の風呂では寒く、後仕舞も大変で、湯量の多いあたたかいキタバあやたの風呂を利用することで、ホカホカした気分で一日を過ごすことができ、入浴することが唯一の楽しみとなっています。</p> <p>キタバあやたの風呂設備の劣化が著しく大規模改修の時期が近付いているとの公報を見て、家でのシャワーを利用できる夏場にその改修を行っていただき、継続してキタバあやたの風呂設備の利用ができますようお願い申し上げます。</p> <p>キタバあやたでの入浴の楽しみを奪わないで下さい。お願い致します。</p>	<p>・両施設の浴室につきましては、継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたって多大な維持経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回の施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p>
<p>9</p>	<p>くすのかホールの風呂を残してほしい。子供、幼稚園児、小中高校等、若い人、中年、高齢者等、誰もが利用しいこえる場がほしいと思います。</p>	<p>・両施設の浴室につきましては、継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたって多大な維持経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回の施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p> <p>・本施設については、こどもから高齢者まで「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」へとリニューアルいたします。特定の世代に限定するのではなく、「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を目指してまいります。</p>
<p>10</p>	<p>年齢に関係なく広く皆様に聞いて行く事がおもしろい意見が出て来ると思います。たとえば10代の人、20代の人</p>	<p>・「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」へとリニューアルするにあたり、若い世代を含め、広く地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>

<p>11</p>	<p>風呂は残して欲しい。 提案 高齢者の居場所が無くなる、錦溪苑の足（交通）確保、マイクロボスの運行 例 奇数日＝男湯、偶数日＝女湯 給湯 ボイラー方式から貯湯給湯方式に変更する 私の個人的な事ですが、65才で腎臓病を発症し以来、毎日あやたで風呂とマッサージ、ヘルストロンを利用して腎臓の血流を良くして少しでも長く透析に進まないよう18年間通って来ました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室のあり方については、運用方法変更（奇数・偶数日での男女入れ替え等）や設備変更についても検討を行ってまいりました。しかしながら、光熱水費の削減にはつながっても、設備保守費用や管理経費（人件費等）などの大幅な削減が困難であることから、浴室は施設改修のタイミングで全面廃止する方針といたしました。</li> <li>・浴室機能を市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐにあたり、交通手段の確保などアクセス面での工夫につきましては、いただいた意見も踏まえながら検討してまいります。</li> </ul>
<p>12</p>	<p>週2回お風呂で利用しています。今後もお風呂に入りたいので継続をお願い致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両施設の浴室につきましては、継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたって多大な維持経費を負担し続けることは困難であると判断し、今回の施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</li> </ul>
<p>13</p>	<p>くすのかホールはひなん場所になっている。なので、オフロは絶対必要です。有料にしても良いと思う。 錦溪苑がボランティアの基地になると聞いたことがあります。楠翠台は清教学園もひなん場所になっていますがおフロはありません。ボイラーの使えるものがあれば使えるものを残しておフロを残してほしい。 おフロでの事故（死亡）が多いなか、週一回でもまわりに人がいる時におフロに入る。安心される事と思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も浴室は有料であり、1回あたり100円の使用料を設定しています。</li> <li>・浴室維持のためには改修費用だけでなく、その後のボイラー保守や光熱水費といった「将来にわたる多大な維持管理経費（ランニングコスト）」が必要となります。浴室使用料の引き上げについても検討を行ってまいりましたが、現在、浴室利用お一人あたり約1,200円～1,500円の経費がかかっている状況であり、仮に使用料を引き上げたとしても、多額の公費負担なしに維持することは困難です。このことから、浴室は施設改修のタイミングで廃止す</li> </ul>

		<p>る方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p> <p>・浴室を廃止し、くすのかホールを（仮称）地域共生センターへリニューアルした後においても、避難所として必要な機能は維持いたします。</p>
15	<p>施設としてキッチン充実させて欲しいと思います。</p> <p>又、それをカフェとして食事、お茶を楽しめる場所があればと思います。</p>	<p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>
17	<p>皆でイベントなど楽しく集える場所づくりに！</p> <p>今日用がある（教養）</p> <p>今日行く所がある（教育）</p>	<p>・本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」を実現するにあたって、イベントなどソフト面の取り組みについても、併せて検討してまいります。</p>
18	<p>4つのコンセプトのひとつである多世代が集い、新たな出会いが生まれる場としてキッチンを作ってほしい。</p> <p>年代に関係なくみんなが集まり調理をして一緒に食べて楽しんでいける場所として使えるようになれば嬉しいです。</p>	<p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>
19	<p>個食を無くす為にもコミュニティの為にもキッチンが欲しいです。</p>	<p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多</p>

		<p>世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>
20	<p>皆が集う為に軽い食事や喫茶スペースができれば一人暮らしの方や子育て中の方も廻りとの交流ができて良いと思うのでぜひキッチンを作っていただきたいと思います。</p>	<p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>
21	<p>くすのかホールに参加させて頂き、半年が過ぎました。友人からの誘いで参加ですが、ボランティアの大変さ大切さをつくづく考えさせられました。近くの方々と一緒に行くようになり、人とのおつきあい、人の考え方を勉強させて頂いています。これで昼食が出来たらもう少し皆さんと過ごせると思うようになりました。女性は特におしゃべり。それが大切だとつくづく思います。たまには人が作ってくれたものを食べたいというのがホンネです。もう少し沢山の人が参加しやすい共生はいいことですネ。誰もが気軽に参加出来るホールでありたいと願います。</p>	<p>・(仮称) 地域共生センターは、つながりや支え合いの機運を高める施設と位置付けしており、沢山の人が施設に訪れ、地域の方々同士の新たなつながりが生まれるよう、工夫してまいります。</p> <p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>
22	<p>みんなで集って料理できるキッチンを整備してほしい。できあがっ</p>	<p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多</p>

	<p>た料理と一緒に食べることができるスペース（キッチン内で食事可であればそれはスペースとみることができる）も用意してほしい。</p>	<p>世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p>
23	<p>清見台に住む老人でくすのかホールの浴室をいつも感謝しながら利用させて頂いている者としては、やはり意見を提出しておくべきと考えました。新たに地域共生センターへの位置づけやコンセプトの主旨も理解出来ますし、それに向って日々努力されていることに敬意を払います。</p> <p>一方、一層の高齢者社会に向っていることも事実であり、その為高齢者の社会参加や生きがい促進の施設は、当然引き続き必要です。なかでも介護予防や健康維持の為の最も効果的な設備が共同浴場であることは、すでに全国的に認められていることで以前から常識となっています。</p> <p>そういうことで多分、先人が大変な努力をされて作られた立派な入浴施設は、ガラス張りで季節の自然（今なら桜）が楽しめる他に類をみない立派な浴場だと思います。</p> <p>私は清見台に住んで何十年もたちますが、この浴場のことを知って利用させて頂いてから、まだ2年もたっていないと思います。</p> <p>広報活動が充分でなければ、当然利用者数の自然減につながります。</p> <p>公報とかに写真付きでもしも掲載されたなら、利用者数の減少につ</p>	<p>・（仮称）地域共生センターは、高齢者の方々も含め、誰もが活躍できる地域づくりの拠点と位置付けております。また、これまで大切にしてきた「介護予防や健康維持ができる場」についてもコンセプトとしております。単なる施設利用にとどまらず、地域の方々同士の新たなつながりが生まれ、生きがいややりがいを感じていただける「地域住民が主体となった居場所」になるよう、運営してまいります。</p> <p>・浴室維持のためには改修費用だけでなく、その後のボイラー保守や光熱水費といった「将来にわたる多大な維持管理経費（ランニングコスト）」が必要となります。浴室使用料の引き上げについても検討を行ってまいりましたが、現在、浴室利用お一人あたり約1,200円～1,500円の経費がかかっている状況であり、仮に使用料を引き上げたとしても、多額の公費負担なしに維持することは困難です。このことから、浴室は施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p> <p>・入浴施設を中心とした老朽化への対応は待ったなしの課題であ</p>

	<p>いては、すぐにでも解決すると思うのは私だけでしょうか？</p> <p>維持経費にも含まれると思いますが、浴室維持にはくすのかホールのスタッフの方々の大変な手間がかかっていると思われる点については、日頃から大変申し訳なく思っています。</p> <p>ただ、私なりに利用者の意見を聴取すると、無くなるくらいなら利用料を上げて貰ってでも維持してほしい旨の意見が少なからずあることも事実です。解決にはすぐに至らずとも、これも貴重な意見です。</p> <p>今まで市として多忙な中、市民の意見聴取の努力には敬意を表したいと思います。ただ本当の清見台等地元の市民、高齢者、利用者の出席の無いワークショップや本来議論すべき浴室のあり方を議題にしないままでは、本当の意見聴取にはならないのでは、と思います。</p> <p>地域共生センターへのリニューアルを急ぐ必要もあるかと思いますが、本当に実のある意見聴取も必要でなかったかと思います。以上の私の意見に稚拙な面もあろうかと思いますが、今後、各方面の方の評価も仰ぐ予定にしております。</p>	<p>り、限られた期間ではありましたが、利用者向けアンケート・オンラインアンケート・ワークショップ等様々な形でご意見を募ってまいりました。今回いただいた「意見聴取のあり方」に関するご指摘は非常に重く受け止めており、今後、皆様の声をよりの確に市政へ反映させるための教訓として、今後の地域づくりの取り組みに活かしてまいります。</p>
24	<p>昨年来、この件で担当課と意見交換の機会を数回得ましたが、回を重ねる度に提供される情報内容が変わり、当惑を禁じ得ませんでした。</p> <p>また、途中から「議会の承認を得た」等の話も入り、先に結論ありきの状況が伺え、意見聴取自体が「手順を踏みました」のための動きに見えて、失望せざるを得ません。</p> <p>意見聴取を目的とするのであれば、事前に提供できる情報、もしくは</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、住民の年齢構成・家族構成をはじめとした周辺地域の環境と、その将来予測も踏まえた、持続可能な施設運営が必要と考えております。また、教育施設をはじめとした周辺施設との連携や、役割の整理も併せて必要であると認識しております。</li> <li>・新たな施設が「地域住民が主体となった居場所」になるよう、今回いただいた地域防災と交流を両立させる「薪かまど」をはじめ</li> </ul>

は、聴取対象者が求める情報項目の確認等が必要かと思えます。  
ワークショップも参加しましたが、外部講師の展開内容が、いささか形式的で、目的からずれている感が否めません。  
さて本題ですが、くすのかホール設立当初の目的と、これからの活用目的が、時間の変遷のなかで変化しており、まず、それらの共通認識の確認が必要ではないでしょうか？  
「入浴設備をどうするか」だけではなく、周辺環境の変化と活用を踏まえた検討が求められると思えます。  
隣接する小学校との連携や周辺住民（環境）の変化（年齢構成変遷・家族構成変化・求められる移動手段の変化・自治活動の活性化状況の変化 etc）と予測の共通認識がある程度必要と思えます。  
私個人の些末な意見ですが、小学校との間のフェンスを取り払い、体育館までのスペースに「薪かまど」を設置してほしい。（一定量の薪備蓄含め）  
理由としては、災害発生時に避難場所である体育館の横に、インフラ（ガス）停止時の活用が可能となり、平時は住民（家族レベル）のバーベキュースペースとしても利用できる。（火気取り扱い管理等の条件設定は必要ですが）  
また、小学校内に「公民館」を併設し、住民が集まれる環境を作る。  
くすのかホール内には、喫茶室や調理設備等があれば、尚可。  
公民館機能と、コミュニティセンターとしてのくすのかホールの存在意義は、重複する要素が多いと思えますので、世代間コミュニケーションの活性化を目的の一つとしてみた場合、「子供と大人（高齢者）との接触機会」を増やす環境づくりとしてみれば、色々なア

めとする様々なご意見について、今後、具体的な設計を行うにあたり参考とさせていただきます。

・入浴施設を中心とした老朽化への対応は待ったなしの課題であり、限られた期間ではありましたが、利用者向けアンケート・オンラインアンケート・ワークショップ等様々な形でご意見を募ってまいりました。今回いただいた「意見聴取のあり方」に関するご指摘は非常に重く受け止めており、今後、皆様の声をよりの確に市政へ反映させるための教訓として、今後の地域づくりの取り組みに活かしてまいります。

	アイデアも出ると思います	
25	<p>①施設の計画は理解できますが、設備等はいいと思いますが、運営についての議論が出来ていないと思います。行政が運営管理されるのでしょうか。地域住民がかかわる必要があると思っています。市民参加の場所を作ってほしいです。</p> <p>②地域包括システムの中の住民の役割が忘れられているように思います。共生社会、市民協働、住民参加の町づくりを考えて頂きたいと思います。</p> <p>③移動困難者が利用できるようなシステム作りはどの様に考えておられますか。</p>	<p>・新たな施設を「地域住民が主体となった居場所」にするにあたり、地域の皆さまが主体的に関わり、アイデアや活動が運営に活かされる体制づくりが重要だと考えております。具体的な運営手法については、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p> <p>・今回のリニューアルは、まさに地域包括ケアシステムにおける「互助・支え合い」の拠点を形成するものです。本施設が目指すコンセプトの一つである「小さな支え合いが生まれる場」を実現し、誰もが活躍できる地域づくりを進めてまいります。</p> <p>・より多くの方に足を運んでいただけるようなアクセス面での工夫も重要だと考えており、地域交通面の課題については、関係部署とも連携し、多角的な視点から検討を行ってまいります。</p>
26	（くすのかホールに関して）改装にあたってはくすのかホール建設当初の原点でもある、「木のぬくもり」を感じる「河内材」を使ったものに引きつづきしていただきたい。	・本市における貴重な地域資源である「河内材」の活用につきましても、設計段階で検討してまいります。
27	（くすのかホールに関して）使い勝手からもぜひとも中・小規模の部屋をいくつかでも設置していただきたい。	・多様なニーズに応えられる部屋の配置や広さの確保について、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。
28	（くすのかホールに関して）風呂については継続希望の声も多々あります。例えば前面廃止でなく、1つを残すなどの工夫は可能となりませんか？（週替り、男女交代で使うとかの工夫がいりますが）高熱水道費はかなりのコストダウンになると思います。	・浴室のあり方については、運用方法変更（奇数・偶数日での男女入れ替え等）や設備変更についても検討を行ってまいりました。しかしながら、光熱水費の削減にはつながっても、設備保守費用や管理経費（人件費等）などの大幅な削減が困難であることから、浴室は施設改修のタイミングで全面廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉

		センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。
29	<p>くすのかホールの浴場を最近よく感謝しながら利用させて貰っており浴場が今後廃止されないようお願いするものです。</p> <p>①高齢者社会 現在も一層の高齢者社会に向っている事実がある以上、高齢者の社会参加や生きがい促進の施設の必要性にかわりはないと思われる。</p> <p>②共同浴場の効用 なかでも介護予防や健康維持の最も効果的な設備が共同浴場であることは、ずっと以前から、そして現在もかわることない常識となっている。</p> <p>③大変立派な浴場 そういうことで市として、そして当時の先人の方々が大変な尽力の未作られた入浴施設は、季節の自然（今なら桜）も楽しめるガラス張り付き等々の他に類を見ない立派な浴場です。</p> <p>④広報活動 長年住む私が近くにこのような立派な浴場が近くにあることを知ったのは、（あるキッカケで）一年半位前であることから、広報活動が全く充分でない、広報が充分でなければ、当然利用者の自然減は避けられない。</p> <p>⑤意見聴取 私がちょっと耳にただけでも、利用者間で「無くなるくらいなら利用料を上げてでも維持してほしい！」というような貴重な意見が多数あります。市民意見聴取されたと言っても、例えば清見台等本当地元の市民、高齢者、利用者等の出席のないワークショップや、</p>	<p>・（仮称）地域共生センターは、高齢者の方々も含め、誰もが活躍できる地域づくりの拠点と位置付けております。また、これまで大切にしてきた「介護予防や健康維持ができる場」についてもコンセプトとしております。単なる施設利用にとどまらず、地域の方々同士の新たなつながりが生まれ、生きがいややりがいを感じていただける「地域住民が主体となった居場所」になるよう、運営してまいります。</p> <p>・浴室維持のためには改修費用だけでなく、その後のボイラー保守や光熱水費といった「将来にわたる多大な維持管理経費（ランニングコスト）」が必要となります。浴室使用料の引き上げについても検討を行ってまいりましたが、現在、浴室利用お一人あたり約1,200円～1,500円の経費がかかっている状況であり、仮に使用料を引き上げたとしても、多額の公費負担なしに維持することは困難です。このことから、浴室は施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p> <p>・入浴施設を中心とした老朽化への対応は待ったなしの課題であり、限られた期間ではありましたが、利用者向けアンケート・オンラインアンケート・ワークショップ等様々な形でご意見を募ってまいりました。今回いただいた「意見聴取のあり方」に関するご指摘は非常に重く受け止めており、今後、皆様の声をよりの確に市政へ反映させるための教訓として、今後の地域づくりの取り</p>

	<p>本来議論すべき「浴場のあり方」を、全く議題としないのなら、本当の意見聴取には全然なっていないのではと思います。</p> <p>⑥経費負担</p> <p>上記の④、⑤、つまり利用者増や利用者負担増の可能性も含めた議論や、本来、当該費用がその他多くの経費項目に先行して削らなければならないものかを含めて、真剣な議論が必要かと考えます。</p>	<p>組みに活かしてまいります。</p>
31	<p>自治体の模範となる現在の高齢者福祉・災害救援施設の改築案に反対します。</p> <p>大阪で一番高齢化比率の高い河内長野市において浴場施設は高齢者福祉にとってかけがえのないものです。</p> <p>また、河川の増水・氾濫、がけ崩れなどの災害避難時には浴場施設が必要となりますが、用意できている市町村はほぼありません。</p> <p>洗面・手洗い・トイレ・浴室が完備されている素晴らしい施設です。普段の浴室利用については高齢者に周知徹底することが望ましく、人数制限・利用時間・利用料も検討が必要かと思われます。</p> <p>高齢者、単身者にとって毎回の浴室洗浄は非常に負担で苦痛なものです。</p>	<p>・浴室を廃止し、くすのかホールを（仮称）地域共生センターへリニューアルした後においても、避難所として必要な機能は維持いたします。</p> <p>・浴室維持のためには改修費用だけでなく、その後のボイラー保守や光熱水費といった「将来にわたる多大な維持管理経費（ランニングコスト）」が必要となります。浴室使用料の引き上げについても検討を行ってまいりましたが、現在、浴室利用お一人あたり約1,200円～1,500円の経費がかかっている状況であり、仮に使用料を引き上げたとしても、多額の公費負担なしに維持することは困難です。このことから、浴室は施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p>
32	<p>①くすのかHにキッチン欲しい</p> <p>②＃は平日利用者は主にシニアなので以下要望します</p> <p>③①で誰でも利用出来るシニア食堂をしたい 孤立・孤食をなくす</p> <p>④ボランティアする人、される人の居場所作りに喫茶スペースが欲</p>	<p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの</p>

	<p>しい=ボランティアで運営 清見台は飲食、喫茶等を楽しむ場所がない</p> <p>⑤将来的に独居者に(くすのかHに来れない人用)弁当配達をしたい</p> <p>⑥最終目的は 介護保険利用者減で皆がイキイキとしたコミュニティを目指す 為に様々な知恵を出し合い、ホール活用をしたい</p>	<p>整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p> <p>・(仮称)地域共生センターは、誰もが活躍できる地域づくりの拠点と位置付けております。また、これまで大切にしてきた「介護予防や健康維持ができる場」についてもコンセプトとしております。単なる施設利用にとどまらず、地域の方々同士の新たなつながりが生まれ、生きがいややりがいを感じていただける「地域住民が主体となった居場所」になるよう、運営してまいります。</p>
33	<p>健康維持を目的とした誰もが利用しやすいホールであってほしい。その中でカフェ等の軽食や飲み物が取れる場所や誰とでもコミュニケーションが取りやすい雰囲気作り、卓球や軽い運動をしながら、健康にも良くて楽しく、くつろげる場所作り。入浴も男女の2ヶ所の維持が難しい場合、1ヶ所を曜日ごとで使用可能に。</p>	<p>・(仮称)地域共生センターは、これまで大切にしてきた「介護予防や健康維持ができる場」についてもコンセプトとしております。健康増進室において、負荷の軽い運動ができるようウォーキングマシンやエアロバイク等の導入を検討しております。</p> <p>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</p> <p>・浴室のあり方については、運用方法変更(奇数・偶数日での男女入れ替え等)や設備変更についても検討を行ってまいりました。しかしながら、光熱水費の削減にはつながっても、設備保守費用や管理経費(人件費等)などの大幅な削減が困難であることから、浴室は施設改修のタイミングで全面廃止する方針といたしました。</p>

		た。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くすのかホールに子供向け図書コーナーをつくってほしい</li> <li>・もみの木文庫の蔵書、赤ちゃん～小中学生までの絵本や児童書、約800冊を寄付する用意がある。地域の方々に広く利用してほしい。</li> <li>・提案…絵本・児童書を常設し、子供から大人まで自由に読んでもらう。月に1度おはなし会を催し、書籍の貸し出しもする。必要であれば、当初は現もみの木スタッフがお世話することも可能だが、そのうちには世話人の新たな輪を作り、くすのかホールに適した運営をしていくのがよいだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、こどもたちが本に親しみ、世代を超えて本を介した交流が生まれる図書コーナーの設置は、有効な取り組みであると認識しております。</li> <li>・新たな施設を「地域住民が主体となった居場所」にするにあたり、地域の皆さまが主体的に関わり、アイデアや活動が運営に活かされる体制づくりが重要だと考えております。</li> <li>・蔵書の寄付をはじめとした貴重なご提案について、実現できるかどうか、検討してまいります。</li> </ul>
35	小学生のためにボルダリングの遊び場が欲しい（小学生にも魅力のある場所づくりとして）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）地域共生センターにおいては、こどもも含めた「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」を目指しております。その中で、ボルダリング壁の導入については、あやたホールでの導入を検討しております。くすのかホールの改修内容についても、地域の皆さまの意見を伺いながら検討してまいります。</li> </ul>
36	<p>子ども専用の多目的に使用できる小部屋が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんや幼児がおもちゃをひろげて遊ぶ</li> <li>・小学生も友だちと遊んだり勉強もできる</li> <li>・母親達のくつろぎの場として</li> <li>・おはなし会や手づくり工作の会などにも使える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）地域共生センターにおいては、こどもも含めた「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」を目指しております。その中で、赤ちゃんが遊べるスペース、キッズスペース、こどもを見守りながらくつろげるスペースについては、あやたホールでの導入を検討しております。くすのかホールの改修内容についても、地域の皆さまの意見を伺いながら検討してまいります。</li> </ul>
37	子育て・孫育ての経験から赤ちゃんには砂場が不可欠である。持参	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな施設がこどもも含めた「多世代が集い、新たな出会いが</li> </ul>

	<p>したおもちゃを貸し借りしたり、砂の触感を楽しんだり、人間としての基礎の部分を養う。</p> <p>付き添いの母親にも、自然に会話が生まれる。</p> <p>奥の小さな庭に砂場を作ってください。</p> <p>砂場のまわりでダンゴムシやバッタなどをみつける楽しみも。</p>	<p>生まれる場」になるよう、今回いただいた「砂場」のご意見は、参考とさせていただきます。</p>
38	<p>くすのかホールについて意見を述べる。</p> <p>1 くすのかホールの現状</p> <p>①くすのかホールは、市内の人口密集地域から少し外れた団地内にある。このため、交通の便も良くない（バスの便も限られる）</p> <p>②貸館だけではなく、福祉ゾーン（風呂・健康増進室・カラオケ）を併設しているため、平日も利用者がある（多くは高齢者、風呂だけで200人/週）</p> <p>③風呂の老朽化・維持経費を理由に、風呂廃止の方向が決まっている（逆転はほぼ無理か？）</p> <p>④現在の福祉ゾーンの機能（風呂が中心）はコンセプトの「多世代」を除くテーマに大きく関わっている活動である。この機能（風呂）を無くすのはもったいない。</p> <p>2 未来を考える会について</p> <p>①意見聴取の場として開催されているが、時期的にテーマがそぐわない（3回目は5年後の出来事）。聴く機会を設けた証拠作りと言われそうで、参加してこの時期の内容には時間の無駄と感じた。今後の具体的な活動についての考え方を引き出すテーマでの開催を希望する。</p> <p>3 コンセプトの具体的な活動に向けて</p>	<p>・多世代交流の拠点として、単に施設を整えるだけでなく、施設に関わる地域住民の数が増えることが大切だと考えております。また、教育施設をはじめとした周辺施設との連携した取り組みも重要であると認識しております。単なる施設利用にとどまらず、地域の方々同士の新たなつながりが生まれ、生きがいややりがいを感じていただける「地域住民が主体となった居場所」になるよう、運営してまいります。</p> <p>・より多くの方に足を運んでいただけるようなアクセス面での工夫も重要だと考えており、地域交通面の課題については、関係部署とも連携し、多角的な視点から検討を行ってまいります。</p> <p>・入浴施設を中心とした老朽化への対応は待ったなしの課題であり、限られた期間ではありましたが、利用者向けアンケート・オンラインアンケート・ワークショップ等様々な形でご意見を募ってまいりました。今回いただいた「意見聴取のあり方」に関するご指摘は非常に重く受け止めており、今後、皆様の声をよりの確に市政へ反映させるための教訓として、今後の地域づくりの取り組みに活かしてまいります。</p>

	<p>①「多世代」とあるが、平日の活動には制約される世代が多い。この内、小学生は隣接する学校との関連した活動が出来ないか。例：放課後活動等</p> <p>②休日の活動も魅力的な企画でないと集客できない。くすのか委員会でも年数回多世代型のイベントを開催しているが、委員の負担が大きい。</p> <p>より多くの開催には活動グループの誘致や育成が最大の課題だ。</p> <p>③利用できる施設の要望を聞くだけでなく、どのように活動するか、利用者の見通しなどの裏づけを詰める必要がある。物は作ったが、普段はガラガラということが無いようにしたい。</p> <p>4 その他</p> <p>当初は「あやた」と「くすのか」は別スケジュールで考えていると聞いていたが、今回のパブリックコメントは、同時に出された。この突然の市の方針変更には大きく失望し、前向きに提案する気持ちも無くしかけたが、地域住民からの声で気を取り直した。</p> <p>「税金をそんなことに使うより、地域住民の足（バス等の交通体制）の確保に使ってくれ」</p> <p>くすのかホールは近隣地域住民の利用しやすい施設内容にするとともに、行き来しやすい体制の整備も併せて大切だ。</p> <p>「立派なものは作ったが、利用者が少ない」という箱物の失敗を繰り返さない様、活動の継続性に重点を置いた今後の取り組みをお願いする。</p>	
39	<p>地域住民の憩いの一つであるお風呂がなくなるのは残念でなりません。やむをえず「改修」にかじを切るのなら、お風呂の代わりに</p>	<p>・両施設の浴室につきましては、継続的な利用者数の減少が見込まれる中で、将来にわたって多大な維持経費を負担し続けること</p>

	<p>なるような要望（例 キッチンや喫茶店等）事項を早くまとめ、早期の実現をはかってほしい。</p>	<p>は困難であると判断し、今回の施設改修のタイミングで廃止する方針といたしました。なお、市内公共施設における浴室機能については、市立福祉センターキタバ錦溪苑に引き継ぐことで対応してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室を廃止した後のスペースの有効活用につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討し、なるべく早期に具体的な整備が実現できるよう取り組んでまいります。</li> </ul>
40	<p>一人暮らしの多くなっている時、町づくりの中でのくつろぎの場（月1階、1日中）の為、皆様とのおしゃべり、悩み事等々、大切な場所に。よって昼食をこの時だけでも、と願うばかりです。</p> <p>又、週何回かの喫茶を開設出来れば、散歩をかねてくすのかホールに寄ってコーヒータイムで誰かとお話しが出来る場所に。</p> <p>又、親子のケーキづくり。</p> <p>又、男性の料理教室等々</p> <p>今一番気になっている事が各地での地震、この大きなホールにキッチンがない事を思うと、不思議です。</p> <p>よろしくお願い申し上げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）地域共生センターは、つながりや支え合いの機運を高める施設と位置付けしており、沢山の人が施設に訪れ、地域の方々同士の新たなつながりが生まれるよう、工夫してまいります。</li> <li>・食を通じた交流は、本施設が目指す新たなコンセプトである「多世代が集い、新たな出会いが生まれる場」や「だれもが安心して自分らしく過ごせる場」を実現する上で、有効な取り組みであると認識しております。浴室を廃止した後のスペースの有効活用も含め、調理ができる設備や、飲食を伴う交流ができるスペースの整備につきましては、地域の皆さまの意見も伺いながら検討してまいります。</li> </ul>